

ブックトーク

お話どうぶつえん

新宿区立落合第六小学校 編



実践事例	
1	実践した教科・領域等 : 国語科
2	対象学年 : 小学校 第2学年
3	活用した書籍情報 : 黄色いバケツ (光村図書2年上)
4	<p>読書活動の実践の概要 : 全 14 時間</p> <p>① 「黄色いバケツ」のお話の大まかな流れをつかむ。</p> <p>② 「黄色いバケツ」の好きなところを書き、きつねの子への手紙を書く。</p> <p>③ 「お話どうぶつえん」の学習の進め方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物が動物の本を集める ・ 動物ごとに集めた本を、場所を決めて第2図書室に「お話どうぶつえん」として置く。 <p>④ 図書ボランティアから、動物の本のブックトークを聞く。</p> <p>⑤ 集まった本の中から、お気に入りの本を見つけて紹介文を書く。</p> <p>⑥ グループごとに「お話どうぶつえん」を開くための話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうしたら一年生が喜んでくれるのか ・ ブックトークのしかた (画用紙に絵を描く・ペープサート・クイズ・同じ作者の本を紹介など) <p>⑦ 「お話どうぶつえん」を開く。</p> <p>その後…設置した「お話どうぶつえん」を全校に紹介した。</p>
5	<p>活動のポイント</p> <p>① 児童に十分な読書活動を行わせ、自分たちが選んだ本を工夫して紹介したいという気持ちを高める。</p> <p>② 1年生にブックトークをすることで、相手意識をもって活動できるようにする。</p>
6	<p>留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書ボランティアにブックトークをしてもらう際、どんな本をブックトークしてもらうのか事前に打ち合わせをしておく。
7	<p>連携した諸機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書ボランティア (保護者・地域の方)